

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ロバキッズひろば		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 24日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 24日		～ 令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人に保育園があること	法人内に3か所保育園があり、行事を一緒に過ごすことができる。また園庭を利用することができ保育園児との交流が行える。また同敷地内に学童保育があり学童も参加したルールある活動も行える。	取り組みを継続し、安心して地域で過ごせる環境を築いている。
2	職員全員が有資格者であり、多職種連携ができていること	食事やことばは言語聴覚士、鉛筆、お箸、ハサミなど手先の活動、着脱行為、感覚統合評価は作業療法士、認知、検査解釈は心理士、そのような一人ひとりの課題をあそびに取り入れ発達を促す保育士、学びのステップを検討する児童指導員と、各職員の専門性を活かして多面的な視点をもって連携している。	事業所内研修の頻度を増やし、他職種の専門分野の理解を広め、専門性の枠をこえたジェネラリストになれるようにする。
3	近隣住民、相談支援事業所、幼稚園、保育園、他事業所の連携ができています	地域の困りごとに積極的に関わり一緒に解決すること、相談支援の方と情報を共有し当事業所だけで抱え込まない、また当事業所の卒園児の受け入れ先、並行通園先となる幼稚園、保育園との情報共有を行い、同じ方向性をもって援助できるようにしている。	自立支援協議会の参加、関係機関からの支援会議には参加し連携を深めていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	敷地が狭い	一軒家の事業所のため拡大が難しい	事業拡大を検討する
2	通園希望に即時に対応できない	定員10名であり、4月入園を10月頃より申し込み開始し定員が埋まるため	事業拡大を検討する
3	就学後のサービスが保育所等訪問支援しかない	放課後等デイサービスを行っていない	事業拡大を検討する